

平成30年 荘銀タクト鶴岡連携事業・特別展覧会
「高野山金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展」開幕記念

水神コンサート

鶴岡アートフォーラムで8月10日から開幕する

荘銀タクト鶴岡連携事業・特別展覧会「高野山

金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展」に先駆けて、

千住博画伯の《水神》が原画である荘銀タクト

鶴岡の緞帳の前でコンサートを開催します。

流れ落ちる瀧の迫力とともに、鳴り響く和太鼓

や津軽三味線、そしてヴァイオリンの奏でる美

しい旋律をお楽しみください。

※展覧会の会期は、8月10日(金)から26日(日)まで。

プロフィール

てんぱくたいこぶ

天魄太鼓部 (山形県立鶴岡中央高等学校)

1996年に山形県立温海高等学校で結成された歴史ある部。その後、鶴岡中央高等学校温海校、鶴岡中央高等学校へと受け継がれ、活動を続けている。部名は、創設された地、温海にある天魄山に由来する。現在、部員数25名。全国高等学校総合文化祭に多数出場し、2003年、2004年、2006年、2007年、2015年、2017年と、総合文化祭賞受賞。

きだりんしゅうえい

二代目 木田 林秀栄 (津軽三絃秀栄会主宰)

1978年、青森県五所川原市、初代 木田林秀栄師匠に弟子入り。1980年、木田流名取を認められ、木田雄秀栄となる。1985年、NHK邦楽オーディションに合格。1986年6月吉日、木田林秀栄を襲名する。2012年、第31回津軽三味線全国大会A級部門入賞(於、青森県弘前市)。2013年、第32回津軽三味線全国大会A級部門入賞、唄付け伴奏部門(津軽よされ節)銅賞。2014、2015年、第33、34回津軽三味線世界大会A級部門入賞。2016年、第35回津軽三味線世界大会団体Bグループ金賞。2017年、第36回津軽三味線世界大会団体Bグループ準優勝。2018年、第37回津軽三味線世界大会団体Bグループ銀賞。現在、津軽三絃秀栄会を主宰し、多数の門下生に木田流津軽三味線を指導しながら、各地の公演に出演している。

せさき あすか

瀬崎 明日香 (ヴァイオリン)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学を首席卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員として、パリ国立高等音楽院大学院修了。アクロス弦楽合奏団メンバー、毎日新聞社主催日本学生音楽コンクール審査員、千葉市文化芸術振興会議委員を務める。イタリア、ローマミュージックファンデーションで研修後、ローマのフェリックス・アーヨ氏のもとで研鑽を積んでいる。

宝塚ベガ音楽コンクール、第64回日本音楽コンクールで第1位。L.モーツァルト国際コンクール第3位、ヴィエニアフスキ国際コンクール第4位、トリエステ国際室内楽コンクール最高位受賞。フォーパルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール優勝。1697年製ストラディヴァリウス“レインヴィル”を2年間貸与。ラヴェルアカデミーにてシベール市賞、ラヴェル賞受賞。青山財団よりバロックザール賞受賞。これまでに東響、日フィル、新日本フィル、仙台フィル、N響室内合奏団等、日本の主要オーケストラと、海外ではミュンヘン放送響、ブルターニュ響等と共演。アメリカ、イギリス、ドイツ、オランダ、スイス、イタリア、ハンガリー、ポーランド、ギリシャ、フランスでコンサートを行う。世界各地の音楽祭やラジオ番組に出演し、日本ではNHK-FM名曲リサイタル、NHK教育、NHK-BSプレミアム等に出演。近年では多数のリサイタルの他、飯森範親や小林研一郎、大井剛史指揮の様々な交響楽団に出演。2016年には、鶴岡音楽祭2016に出演のため来鶴している。また、スペシャルオリンピックスのコパケンとその仲間達オーケストラのコンサートミストレスを務める(活動がドキュメンタリー映画“天心の譜”として公開される)他、株式会社ネイチャーズウェイの環境基金顧問を務める等、チャリティー、アウトリーチ活動も積極的に行う。ALMゴジマ録音よりイザイ無伴奏ソナタ全曲(レコード芸術特選)、サンサーンス作品集をリリース。

荘銀タクト鶴岡連携事業

「千住博展」& 緞帳見学ツアー

展覧会を鑑賞し、あわせて千住博画伯の《水神》が原画である荘銀タクト鶴岡の緞帳を見学します。

8/14(火)、8/23日(木) 各日14:00~15:00

※当日以外での緞帳見学はできませんので、予めご了承ください。

申込不要、無料(要観覧券)。

当日、鶴岡アートフォーラム1階、ギャラリー入口にお集まりください。

展覧会イベント

「千住博展」ギャラリー・トーク

担当学芸員が展覧会をご案内します。

8/12(日)、8/19(日) 各日14:00~15:00

申込不要、無料(要観覧券)。

当日、鶴岡アートフォーラム1階、ギャラリー入口にお集まりください。